

令和7年度 学校経営について

旭市立鶴巻小学校

1 学校教育目標

豊かな心と健やかな体をもち、夢に向かって自ら学ぶ児童の育成

「夢に向かって」とは

ここでいう「夢」とは「目標」「目当て」「ゴール」「目指す姿」などと言い換えてもよい。児童の内側から湧き出るエネルギーを大切にして教育活動を推進することを意味する。

また、夢を叶えることを重視しすぎず、夢を叶えるために努力することから得られる学びを適切に評価し、児童の人生に生かせるようにする。

《目指す児童の姿》

- 努力を重ね、学びを生かす児童（態度全般）
- 自ら考え、表現する児童（知育）
- 自分との違いを認め、互いに支え合う児童（徳育）
- 心身共に健康でたくましい児童（体育）

《目指す教職員の姿》

- 児童に愛情をもち、人間性豊かで健康な教職員
- 高い専門性と広い教養で、魅力ある授業をする教職員
- 児童の心に訴える指導をし、個性を伸ばす教職員
- 自覚と誇りをもち、職務を全うする教職員

《目指す学校の姿》

- 挨拶と歌声が響く学校
- 安全な環境で、安心して過ごせる学校
- 保護者・地域から信頼され、共に歩む学校
- 機動的に組織が運営され、チーム力を発揮する学校

《願う家庭の姿》

- 学校での出来事や将来の夢を語り合う家庭
- 宿題や自学等を支える家庭
- 子供に役割を与え、自主性や自尊心を育てる家庭
- 学校と共に基本的生活習慣を身につけさせる家庭

《願う地域の姿》

- 児童の成長に喜びを感じ、家庭や学校とともに育てる地域

2 目指す姿を実現するために

(1) 主体的な学び（知育）

- ①基礎・基本の徹底
- ②児童の思考の流れを重視した授業実践（「鶴巻小授業展開モデル」の活用）
- ③振り返りのできるノートづくり（「板書の基本形」の活用）
- ④児童の学びを助ける ICT 機器を活用
- ⑤読解力の向上（文字や図表を読み慣れる機会の確保、音読の重視）
- ⑥家庭学習の充実（自学ノートやタブレット PC の活用）

(2) 豊かな心（徳育）

- ①考え・議論する道德の推進
- ②異学年交流による心の教育の推進（2 学年合同の体育、縦割り清掃等によるリーダーシップとフォロワーシップの育成）
- ③社会性の育成（委員会や係活動・当番活動の充実による責任感や協調性、コミュニケーション能力、モラルやマナーの育成）
- ④人や自然と触れあう体験活動の充実
- ⑤人権教育の充実（各教科における学習内容の重点化、いのちを大切にするキャンペーン、人権教室）
- ⑥夢を育む教育、ふるさと教育の推進

(3) 健やかな体（体育）

- ①全校で取り組む活動の充実（陸上部・業間マラソン・体力テスト）
- ②外遊びの推奨
- ③命を守る保健指導・安全指導の推進（時期や場合に応じた保健指導、避難訓練、心肺蘇生法研修、外部講師による保健教室）
- ④食育の推進（給食指導を中心として）
- ⑤定期的な健康診断・身体測定の実施、及び結果の伝達と受診等の確認

(4) 安全・安心な学校づくり

- ①自分を守る知識・技能の育成（防災教室・防犯教室・情報モラル教育等）
- ②安全点検の重視（複数による交代制の点検）
- ③学校の指導に対する家庭との共有
- ④学校徴収金の適切な管理

（５）特別支援教育の手法を取り入れた生徒指導・教育相談の充実

- ①児童一人一人への理解に基づく生徒指導の推進
- ②アンケート・教育相談による問題行動の未然防止・早期発見・早期対応
- ③ケース会議に基づくチームとしての対応（問題行動・保護者対応）
- ④スクールカウンセラーの積極的活用と関係機関との連携

（６）教職員の指導力の向上

- ①「鶴巻小授業展開モデル」「板書の基本形」の見直しと研修の実施
- ②一人一授業の相互参観の実施
- ③学校評価・目標申告を活用した面談の実施
- ④特技を生かした業務の推進

（７）モラールアップ・働き方改革の推進

- ①「不祥事を未然に防ぐ自己分析シート」の定期的実施
- ②ボトムアップ型の研修の実施（アイスブレイク含む）
- ③仕事と生活の調和・充実させる働き方の実現

（８）地域・家庭との連携

- ①学校運営協議会・地域学校協働活動・PTA 活動の充実
- ②HP や学校便り等による情報発信
- ③地域の人材を生かした教育活動の推進

（９）読書活動の充実

- ①読み聞かせボランティア・学校図書館司書の活用
- ②読書通帳の活用と読書賞の授与
- ③読書活動計画の見直しと活用
- ④ミニ図書室の設置と活用